

PICK UP

祝 鬼北ジュニア全国制覇

— キラリと輝く汗とメダル…そして笑顔 —



Photo_ 満面の笑みを浮かべながら、力強いガッツポーズを決める鬼北ジュニア

「第30回全日本小学生男子ソフトボール大会」は、8月5日から8日までの4日間、栃木県大田原市で開催され、鬼北町スポーツ少年団鬼北ジュニアが優勝の栄冠を手に入れました。

一進一退の激闘の末、初戦を突破した鬼北ジュニアは、その後も、チーム一丸となって一心不乱に戦い続け、見事、春の全国大会で味わった悔しさを晴らしました。

8月10日には、「優勝パレード」が行われ、鬼北ジュニアの選手たちは、JR近永駅から鬼北町役場までの道のりを行進しました。沿道からは、「おめでとう」と、チームを祝福する声が響き渡り、選手たちは、少し照れながらも嬉しそうに歩を進めていました。

選手たちは、約300人の住民たちに出迎えられながら、鬼北町役場に到着。そして、引き続き鬼北町役場で「優勝報告会」が行われ、武田英喜監督と、武田善キャプテンがチームを代表して、あいさつを述べました。甲岡秀文町長は、「皆さんの快挙は私たちに勇気を与えてくれた。皆さんは鬼北町の宝」と、チームの健闘を称えました。

大会を前に町長室を表敬訪問した際、「全国制覇する」と宣言していた鬼北ジュニアの選手たち。見事、有言実行を成し遂げました。